

令和元年第7回教育委員会議定例会 会議録

1. 開催日時等 令和元年9月6日(金)
午前9時00分開会 午後2時35分閉会
2. 開催場所 ニセコ町民センター研修室1
3. 出席委員等 教育長 菊地 博
1番委員 日野浦 あき子
2番委員 下田 伸一
3番委員 越湖 明美
4番委員 萬谷 政博
4. 欠席委員 なし
5. 事務局出席者 学校教育課長 前原 功治
町民学習課長 佐藤 寛樹
学校給食センター長 富永 匡
幼児センター長 酒井 葉子
学校教育課総務係長 工藤 亜津子
学校教育課学校教育係長 佐々木 一茂
学校教育課学校教育係主事 木村 美幸
6. 会議録署名委員 4番委員 萬谷 政博
7. 議 件

会議録署名委員の指名について

教育長の報告

報告第1号 交通違反の報告について

報告第2号 ニセコ町立北海道ニセコ高等学校「海外見学旅行事前協議書」の届出について

議案第1号 平成30年度ニセコ町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について

議案第2号 ニセコ町幼児センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案第3号 ニセコ町幼児センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第4号 ニセコ町幼児センター第3子以降給食費免除実施要綱の制定について

議案第5号 ニセコ町幼児センター保育料預貯金口座振替事務取扱要領の一部改正について

議案第6号 ニセコ町私立幼稚園就園奨励費交付要綱の廃止について

議案第7号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

議案第8号 令和元年度ニセコ町特別支援教育就学奨励費の支給対象者の決定について

その他説明・協議事項

町民学習課長 ・ニセコマラソンについて

8. 議事の概要

教育長: 定刻となりましたので、ただ今から第7回教育委員会議定例会を開催いたします。

本日の議事日程は、予めお配りした議事日程表のとおりです。

「日程第1 会議録署名委員の指名」を行います。

会議規則第12条第5項の規定において、「4番 萬谷委員」を指名いたします。

次に「日程第2 協議案第1号 令和2年度当初予算の各学校要望事項について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長: 中学校のヒアリングにはいります。

・・・ニセコ中学校田村事務員から予算要望の説明（校長補足）・・・

教育長: 「ニセコ中学校要望事項について」の説明が終わりました。

それでは「ニセコ中学校要望事項について」の質疑を行ないます。

質疑はありませんか。

教育長: 扇風機は現在3台あるということですが、各教室にありますか。

田村事務員: 暑くなるまでは別室に保管していますが、暑くなった時に持って行って使っています。通常は普通学級3学年ですが、その時によってはコンピューター室や音楽室を使ったりするので、移動はできますが機械なので壊れてしまうことも考えられるので、暑いところにはできれば移動はさせないで据え置きで使いたいということです。

教育長: コンピューター室には空調はないのですか。

田村事務員: ありません。

教育長: 本来であればパソコンが入っている関係上、空調があった方が良くと思います。

いずれにしても暑さ対策として全国的にエアコンの問題が出ていますが、なかなかそこまでは手が届かない状況にはなっています。扇風機の要望があるということで、必要な場所に常に置いておけば良いと思います。

下田委員: コンピューター室と職員室のカーペットのほつれは、下に配線してあることが関係していますか。また、コンピューターだから静電気の関係で普通教室とは違っ

てカーペットを使用しているのですか。

森校長：カーペットだと静電気が起きやすくて、当初乾燥しておりましたのでパソコンが壊れました。本当はカーペットではない方が良いのですが、配線や構造上カーペットでなければいけないことです。

下田委員：床配線もいろいろ開発されていたり、無線 LAN や天井配線等の工夫もある中で、今回カーペットを入れ替えて、その場しのぎで、同じことが起こるのではないかと思います。扇風機や網戸は当然のところですが、熱中症対策で水分補給等の対応をされていますか。

午来教頭：夏場は水筒を持たせ、体育の授業で外に出る場合は必ず水筒を持たせるように配慮しています。

下田委員：タブレットの問題ですが、近藤小学校ではずっと保管されて使われている状況ですか。恐らく共有するというで始まったものの、結局使いにくくて使われていないというのが1番良くないので、整備するならきちんと整備するというところで、これからデジタル投資は凄く進めた方が良くと思います。教員の負担も軽減されるところもあると思いますので、是非進めていただきたいと思いました。

3年生の修学旅行の「能楽おもしろ講座」は例年のプログラムですか。

森校長：近年は見学・体験をしています。

下田委員：反応はどうか。

森校長：子供たちは楽しんでいますが、時間が短いと感じは感じます。

下田委員：受け入れ側も問題なさそうですか。

森校長：慣れた場所なので大丈夫です。

下田委員：自主研修も課題を出されてやっていますよね。

教育長：今後の修学旅行についての目的地等も含めて、学校としての方針はありますか。

午来教頭：毎年、教務が中心になって行先は検討していますが、能楽が非常に予想外に子供たちに反応が良いこと、北海道とは違った文化圏を見せたいというあたりでは、今のところ同様の行先を考えています。ただ、もともと東北に行っていたのでこちらも検討し概算を出していますが、貸し切りバスの金額が高騰していて、東北だと公共交通機関で回れるところが限られていて金額的にもネックになっていること、もう1つは保護者の中で放射能に関する心配の声が多いため、少しずつ慎重に保護者の方とも相談しながら進めるべきかと思っています。

教育長：最近では北海道新幹線の利用を含めながら、東北に戻している学校も多いように聞いていますが、バス代が上がっている中で、東北はバスを使わなければいけないので。

午来教頭：新幹線は団体だと半額になるということですが、現地に行ってからの方が思いつかない状況です。

教育長：目的や交通手段等を含めた中での検討をお願いしたいと思います。

日野浦委員：特別支援学級が増えているところですが、教室を2つに分けるということで、新たに別にということではなくて良かったと思う。能楽体験はなかなかできないので、是非続けていただきたいと思います。劇団四季は終了ということですが、予算が付いたら行かせてあげたいと思います。これからプログラミング教育のためのコンピューターの整備は、早めにやっていると、先生方の作業や子供たちの作業もスムーズにいくと思うので少しずつ予算をつけて早めに行ってほしい。

教育長：特別支援教室は仕切りをとって広く使っていると思います。今現在は3学級で使っていて仕切りを付けたら4つということですよ。

田村事務員：もう1学級の素案ですが、1階の3Bの教室を使うことも視野に入れていますが、3年生は1学級なので空き教室があって普段も使い分けているところもありますが、それを特別支援学級として使えないかと考えています。新年度の特別支援学級の配置については新たに決めなければいけません、学級数でいけば最大5になりますので、5学級に対応した教室配置を考えています。

萬谷委員：LEDはどの程度入っていますか。

田村事務員：蛍光器具のところが壊れたりした場合はその都度替えています。

萬谷委員：今、いろいろな施設でLED化が進んでいますが、その時にはお金はかかりますが、将来的には電気代も相当安くなるので進めていった方が良いでしょう。

教育長：バス代の件ですが、学校としては配分された予算の中である程度の裁量の中で使わせてもらいたいとのことですが、今後担当と十分つめてもらいたいと思います。

学校教育係長：内部で検討したいと思います。

下田委員：バスに限らず、いろんな面で学校経営の視点で、学校裁量が増えるともっとやりやすいのではないかと思いますので、現場の声を集約してどんどん要望をあげても良いと思います。

日野浦委員：雪庇の問題は、事故が起こる前に対応してもらいたい。

教育長：部活動指導員について、その制度を使いたいということであれば、予算措置が必要になりますので、今後係と検討を進めていただきたい。

下田委員：一部少年団からも要望の声はありますが、その手法がわからない状況です。外部指導員制度が浸透していないので、中学校にお願いしても部活を増やす余力はないという認識で終わっている、その軽減のための制度だと思います。人が先なのか予算が先なのかということ話し合う場もないので、結局進まずという状況なので、是非テーブルを設けてもらえるとありがたい。

教育長：国の方も部活動指導員については拡充したい考えがありまして、地域に指導者の人材がない場合については、近辺に指導者がいれば旅費を措置するという示しています。今後はこの制度も広がっていくのではないかと思います。

教育長：他に質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で中学校のヒアリングを終了します。

教育長：引き続きニセコ高等学校のヒアリングに入ります。

・・・ニセコ高等学校高校教育係長から予算要望の説明（校長補足）・・・

教育長：「ニセコ高等学校要望事項について」の説明が終わりました。

それでは「ニセコ高等学校要望事項について」の質疑を行ないます。

質疑はありませんか。

教育長：来年は本町が観光サミットの当番校で、夏には観光研究大会があって経費はおおもとのところでもつということですが、観光サミットの当番校はニセコ高校ですが会場については札幌国際大学ということで決まっているのか。大学を使うという必要性があるということか。

高校教育係長：札幌国際大学ということで、打ち合わせ済み。協議会の中で、高校生に観

光を専門学科としておいている大学の勉強を体験させることが目的となっていて、必ず会場は観光を教えている大学としてその生徒や教員にも協力をいただくこととなっています。

高校での学習だけでなく、大学の学習も体験できるということで、北海道では札幌国際大学ということで協議会で決定しています。

教育長：15名程度ということですが、代表生徒や補助生徒の内訳は今の時点で決まっていますか。

高校教育係長：代表生徒は必ず2名1組が最低限なので2名、補助生徒が7名ということで生徒が9名を予定しています。それに先生が8名で、内訳としましては、生徒の引率に1名、その他運営に係る教員が4名、事務局的なことを担当する方が3名で、合計すると生徒9名、先生8名で考えてはいますが、まだ未知数なので15名としています。

教育長：日にちは決まっていますか。

高校教育係長：日にちは未定ですが、例年の日程でいけば12月11日～12日の2日間日程ではないかと思います。

教育長：宿泊は一泊ですか。

高校教育係長：事務担当の先生が前々日頃から入らなければいけないので、3名については三泊、運営の先生については前泊を入れて二泊、生徒と引率教員については一泊と考えていますが、まだ正確には決まっていません。

教育長：概算で要求が出ていますが、今言った内容で計算しているのか。できればその内訳も載せてあった方が良いでしょう。

学校教育係長：最大値で算出しています。

教育長：代表生徒と補助生徒の役割は何ですか。

高校教育係長：代表生徒は発表、補助生徒は事務的な部分の補助ということで運営進行の手伝いをします。

教育長：先生たちが金曜日に8名不在になると、学校は普通通りで大丈夫ですか。

高校教育係長：その辺りの調整はこれからになります。前回のサミットがどの程度かというのを勘案し、最大15名程度ということで積み上げている最中なので変更があるかもしれません。

教育長：徳島には先生1名、生徒が2名の参加ですか。

高校教育係長：今年は先生も少し多めに行くことで予算付けしています。

教育長：今後内容をつめて町に提出することになるので、もう少し詳細な内容の方が良いと思います。

日野浦委員：奨学金返済不要の支援制度を利用して2年生の生徒が3週間ニュージーランドへ留学したということで、嬉しいことですね。今までにないように、2年生4名、3年生2名が4年生への進学を希望しています。町の予算はこれからの要望になると思いますが、できれば希望している方がいるので。

教育長：考え方としては、志がある生徒についてはできるだけ支援したいと思っていますが、今までになかったことですから、町へは強く要望していきたいと思っています。

日野浦委員：全員は無理かとも感じるが、個人的には要望している方は全員経験させたいと思っています。

教育長：YTLホテルズの受け入れの関係があります。そちらの体制が整うかということ

と、かなりの支援をいただいているので、人数が複数でも可能かということも含めて相談をしていかなければいけないと思います。

日野浦委員：帰ってきた後にそれを生かすというか、無理強いなのかとも思いますが、戻ってきて活用されたことがあまりないですね。

高校教育係長：2月に発表をする機会を設けています。前は体調不良で残念でしたが、必ずそのような機会を設けて町民に還元するようにはしていますし、当然、その還元は在校生にもされるので、それがあつたからこそ次に行きたい人も出てきて、地元のホテル等にも就職している人もいますので、還元にはなっていると思います。

日野浦委員：2月の発表には参加していますが、その後の何か町への活用をもう一步踏み込んだ形で、ホテルに就職した方もいるようですが、子供たちにも認識をしてもらえると良いかと思います。

高校教育係長：帰ってきてすぐに就職活動が始まるので、なかなか本人も時間がとれない状態になると、就職するとそちらに集中するので、2月の発表以外に還元する場を設けるのは難しいと思う。

教育長：そのままニセコに就職することも一つですし、今回のように個人で申し込んで道を拓いたということは、ある意味ニセコ高校へ進学したから実現したということで、ニセコ高校のPRになるのではないかと嬉しく感じました。どんどんそのような生徒が出ることにより、ニセコ高校のPRになると思うので、応援していきたいと考えています。その中で、将来的にニセコ町に貢献したいという生徒が1人でも2人でも出ればありがたいと思います。

2月の報告会で町民の方にも広く知ってもらおうとか、ラジオニセコ等いろいろな方法で研修をしてきたことを報告する場がありますので、積極的に取り組んでもらいたいと思います。今行っている子は今日帰ってきて、来週町長に報告をすることになっています。

日野浦委員：トラクターの整備についてですが、今回は点検整備と修繕を要望していますが、機械なので使ってみなければわからないと思いますがまだ使えそうですか。

高校教育係長：近所の方に聞くと、6,000時間くらい使っている農家の方が多くて、時間的にまだ大丈夫そうですが、もちろん使っているうちに壊れたということは出てくると思うので、そこは直しながら使うのがトラクターの使い方だと思っていますので、まだもう少し使えると思います。ただ、年間約200時間使っていて4,600から4,700時間なので、近いうちには更新の時期が来るかと思っています。高校のトラクターは10馬力と小さいので、一概に比較はできませんが、大きいものよりは早く壊れるかもしれませんが、今のところは直しながら使えると思います。

日野浦委員：マシンは現在使用可能な11台で回すことはできないのか。

高校教育係長：できなくはないのですが、限られた授業時間の中で生徒が待っている時間が長くなるので厳しい。あと5台あれば回せると思う。本来は9台買って20台にするのが1番良いが、機種を選定も含めて調整中。

下田委員：宿舎の閉寮日についてですが、ゆくゆくは毎週家に帰ってもらうということで、今のところ反対意見は出ていないということですが、やはり増えていくと保護者側の負担が増えたり、生徒本人の希望もあるかと思いますが、このあたりのアンケートを実施する予定はありますか。

高校教育係長：新入学の時点で寮の説明をする時に、昨年からですが、月2回閉寮になる

ので必ず家に帰ってもらうということで理解をしてもらったうえで、来てもらうようにしています。

下田委員：それであれば入学を断念するケースも出てくるのではないかと思います。現実的にみればこちらの事情があつてということもあるのかと思います。その辺がどうなるのか心配しております。先程の4年進学に伴つてのこともありますが、いろいろな中学校にセールスに行った時に、本校ではこんな進学の道もありますよというトークもしてくると思いますが、どの程度が叶うのかということが切実な問題だと思いました。タブレットの関係ですが、W i - F i モデルということで、学校ではネット環境にうまくつながらなくて使えないですか。

高校教育係長：学校にはW i - F i 環境がないので、学校にいる時はW i - F i を使わず単体での使用を今のところは想定しています。町民センター等W i - F i 環境があるところでは、今回のSDG s もそうですが、町民センターのW i - F i 環境の中でディスカッションをしましたので、他の学校のみなさんもW i - F i を使ってタブレットで検索をしていましたし、そういう時はニセコ高校でもW i - F i を使って検索をしました。通常は学校ではW i - F i を使わず検索もしないという内容での仕様を、来年度については想定しています。将来的にはわかりませんが。

下田委員：それだとせっかくの機能が活かしきれていないと思います。町民センターやSDG s 未来会議で、実際に1年間でどのくらい使えるのか。担当教員の私物は早めに解消した方が良くと思うので、導入するのであれば、学校でも有効に使えるような環境整備も併せて進めていくべきだと思う。保護者との緊急連絡に係るメールですが、これは凄く良いことだと思う。小学校でも緊急連絡のところで、保護者もスマートフォン利用者が多いので、L I N Eの方が早く伝わると思います。中には、メールをやらない方もいたりするので、事情に合わせた計画が良いと思いました。

清水校長：寮生がいるので寮に来ている生徒の状況がどうかということで、前任校で使っていたのですが、昨年のブラックアウトの時も高校生と保護者に同時にメールを配信して、学校の状況の連絡が最後まで一番届いたのがメール配信でした。そのようなことで、行事予定等を保護者にも同時に伝えるのに便利なのがメール配信です。登録していただければ、保護者限定や生徒限定等いろんな使い方ができますし、職員間でも1回で配信ができます。また、個人的なやりとりをさせないという学校側の姿勢としても示せるので、便利な機能だと思っています。

萬谷委員：寮に入られないということであれば入学を断念するということもあるかと思いますが、家庭のことを考えると毎週帰って来るというのも良いという考えもあります。ただそれが原因で生徒が入学できないということは残念だと思います。離れているところの生徒については毎週帰るのは厳しいのかなと思いますが、できれば1週間に1回は親元に帰した方が良いのかなとも思うので、どちらが良いのかなと思っています。

川添教頭：その件に関して現状をお話ししますと、2・3年生ですと月1回、1年生は月2回帰っていますが、閉寮日にしなくても、半分くらいの生徒が親元に帰っていることの方が多いです。帰るのが難しい稚内や幕別町からの生徒もいるので、どこにスポットを当てるかということです。北海道の生徒は入学することは制度上問題ないのですが、その辺を慎重に考えて進めなければいけないと思います。また、学校が一番気になるところは、生徒に何かあつた時の管理です。先生方がずっとついて

管理しているわけではないこと、警備員さんも踏み込める状況と踏み込めない状況もあること、寮の日誌を見て、昨年あったトラブルの件も、先生がもっと早く対応していれば大きいことにはならなかったのではないのかということもあるので、特に担任の先生は残っている子のことで問題を起こさないか等気になっていると思います。万が一のことを考えて、学校側としてはできれば保護者のもとに帰ってもらって、親子のコミュニケーションをとっていただいた方が良いのではないのかということです。

教育長：今一番遠い生徒は。

川添教頭：稚内か幕別で、どちらも6時間以上かかります。

教育長：その子たちは閉寮日には帰っているのか。

川添教頭：帰っています。帰る頃には夜が遅くなったりすることもあります。稚内にお家がある子は、札幌に兄弟がいたりするので、札幌に帰るケースもあります。

教育長：今後の年度に向けて、PTAの方々に相談することはないのか。

川添教頭：今後考えさせていただきます。

下田委員：今後どういう学校を目指していくかが、非常に大きくテーマとしてあると思います。今後どのような学校像が待っているのかというところが、非常に大きく関係してくる問題だと思いました。

教育長：他に質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で高校のヒアリングを終了します。

教育長：引き続きニセコ小学校のヒアリングに入ります。

・・・ニセコ小学校大湊事務員から予算要望の説明（校長・教頭補足）・・・

教育長：「ニセコ小学校要望事項について」の説明が終わりました。

それでは「ニセコ小学校要望事項について」の質疑を行ないます。

質疑はありませんか。

教育長：扇風機ですが、要望は4台出ています。今現在は、各普通教室にはありますか。

大湊事務員：現在扇風機はありません。教室の窓側からの風は入ったとしても、廊下があるので風が通らないため、なかなか新しい空気を取り込めない状況。

教育長：4台要望が出ていますが。

大湊事務員：幼児センターの方で過去に4台ずつ導入した経過があったというようなアドバイスをいただいたのですが、そうすると子供たちにも不公平感がでるのではと心配をしているところです。

教育長：配置の仕方は。

大湊事務員：学年ごとで、前と後ろに1台ずつということですが。または、1フロアの前方だけという考えもあります。

教育長：計画的に導入したいということですが、一回だと何台必要か。

大湊事務員：理想は一気に導入したいです。通常学級11学級に前後方で2台、特別支援学級は特に要望は出てはいませんが、普通学級に配置されるのであれば特別支援学級にもという声も出てくると思います。

ただ、児童の人数を考えた時に、普通学級より特別支援学級は教室が広い所に1～2人なので、強く熱がこもるような状況ではないとは思いますが、必要だという

声が上がれば1台で対応することになるかと思えます。

玉田教頭：5年生が1学級36名で、風が抜けなくて大変な思いをしています。

飯田校長：1階と全然温度が違って3階が暑いので、段階的に入れるとすれば、高学年の普通教室から順次入れていただければと思います。

下田委員：子供たちが増えたことによるしわ寄せがいろんなところに出ていると思います。例えば、それによって跳び箱が跳べない子が多いなどの状況はありますか。

飯田校長：数があるにこしたことはないので、数があれば能力に合わせて効率よく授業ができると思います。

下田委員：全国的に少子化で、廃校・統合となっている状況なので、どこかには余って捨てている物があると思うので、工夫で何か良い方法はないかと思えます。暑さ対策は進めないと、何かあってからでは遅いので、扇風機は是非多めに導入していただきたいと思えます。タブレットはどのような状況ですか。

玉田教頭：タブレットはまだ導入されていません。8台予定していて待っている状況です。特に、特別支援のお子さんには、保護者にも説明をしているのですがまだ導入されていないので、特別支援の先生も困っている状況です。プログラミング教育も来年度から入るということですが、ネット環境があまり良くなく、児童のパソコンは良い物をいただいています、そこに文科省のフリーソフトをつなぐと動作が遅くなったりすることがあって、パソコン自体のスペックは問題ないのですが、ネットをつなげる環境がどのようになっているのかという部分もお願いしたいところです。是非、タブレットの活用は非常に有効なので早急をお願いしたいのと、教職員のパソコンもピンチな状況なので、早急に対応をお願いできればと思います。

下田委員：バスの関係で、先程中学校からは学校裁量で使用できたらという要望がありました、いかがですか。

玉田教頭：校外学習を希望している学年もある中で、バスが使用できないために違う方法で考えていることもあります。キノコの学習をしていてビュープラザまで行っていますが、その時はニセコバスを利用しているというように工夫をしています。近場であれば良いのですが、倶知安に見学に行きたいという場合等は難しいところではあります。

下田委員：学校経営の部分で、自由裁量ができれば良いと思っています。人材の部分で、いろんな支援が必要な子供が増えている中で、制度として、ちょっとした部分で地域の人が学校の先生をアシストするというようなことも新聞で報道もされているようなので、その辺の検討もできれば良いのかと思えます。地域の課題は地域で解決できれば良いと感じました。

日野浦委員：高跳びセットが2台あるのに、マットが不足しているということでもったいない。跳び箱も人数が増えているので、もう1台あればと思います。扇風機も今年のように暑い日が続くこともあるので、揃えてあげたい。支援員の先生ですが、現在2名でもう1名増員を希望しているとのことですが、1名がつきっきりじゃないと大変だということで状況を教えてほしい。

玉田教頭：朝から帰りまで1人に対しマンツーマンという状況です。今、3年生の児童が人形遊びをやっていますが、幼少期に体験をしていない遊びを今つきっきりでやっていることで、その子の発育が段階的に進むように支援をしているところです。もちろん、途中で暴れたり、物にあたったりすることもあるので、必ずついていない

と厳しいということですが、支援の先生がついていることによって、学び直しができていて最近状況も変わってきているところが見えています。

他にも補助を必要としているお子さんがいるわけですが、保護者の要望に応えられていないというのが実情です。

飯田校長：任用条件があつて、それを満たす方を採用していただきましたが、勤務時間等の任用条件を緩和する中で、人材が欲しいところです。

日野浦委員：現状では、精神的に落ち着いているとのことですが、学校には毎日登校していますか。

玉田教頭：以前は、水曜日はお母さんが休みなので一緒にいたいということで休んでいましたが、現在は学校に来たいというようになってきていて、波はありますが本人も張り切って学校に来ています。

教育長：消耗品費が上がっている理由の1つとして、インターナショナルスクールの子供たちがある時期増えるので、そこに対応するために必要な経費ということですが、実際はどのくらい人数が増えているのか。

大湊事務員：人数としては10人くらいの出入りがあります。他の子にはワークを買って使ってもらっていますが、短期間なのでワークを買ってもらうよりはということで先生が気をきかせてやっている状況ですが、実際は負担が増えているところです。インターの子に限らず、宿題もコピーをしているのですが、この部分においては授業にかかわることなので制限がかけられないと思います。

事情により、カラーの印刷代も増額になっていますが、特別支援の子どもが変わる最初のきっかけになったところで、好きなキャラクターを印刷して塗り絵をする学習を取り入れたところ、学習に取り組む姿勢に変化がみられたので、成果がみえているのでやらせてあげたいので、子どもに関わる部分ではセーブしたくないので予算の確保をお願いしたい。

教育長：カラーの使用に関してルールはありますか。

大湊事務員：基本は白黒印刷です。子どもが撮った写真や、絵を描くためのサンプル等児童に関わる部分しか許可はしていません。

その他にも、教員住宅の営繕について要望が何点かありました。

教育長：ある程度は住宅に住む人の管理ではありますが、頭には入れておきます。

教育長：他に質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

教育長：休憩を挟みまして、近藤小学校のヒアリングに入ります。

・・・近藤小学校前田事務員から予算要望の説明（校長・教頭補足）・・・

教育長：「近藤小学校要望事項について」の説明が終わりました。

それでは「近藤小学校要望事項について」の質疑を行ないます。

質疑はありませんか。

教育長：来年度から新学習指導要領が変わって、教師用の図書を学校として揃えたいということはあるですか。

土屋教頭：前はなかったので、今回はあると助かる。

教育長：太鼓は2～30万円ですか。

古田校長：ある程度のしっかりした音を出すものでお願いしたいです。ただ、本校の備品ではないので要望してよいものかわかりませんが、この取り組みは継続して行いたいという思いはあります。

下田委員：今年の夏の教室内の暑さの状況はどうでしたか。扇風機や網戸は完備されていますか。

前田事務員：扇風機が各教室に1台ずつ設置していて、網戸も完備されています。

下田委員：児童の机と椅子ですが、現在可動式の物を使っていると思いますが、現有数量を見ると、固定式のも20脚ずつあるということですか。

前田事務員：音楽室の物は固定式です。

教育長：机や椅子に関して予算要望されているのは、来年度の1年生ですよね。今年予算には入っていないですか。

学校教育係長：給食の台等も人数や学級数で変わるので、状況をみて補正対応で4月に間に合うように整備したいと思います。

教育長：4月に間に合わせるためには今年度中に揃えなければいけないので、補正については今後相談させてください。

下田委員：タブレットの件ですが、現在8台設置で残り5台追加をして1人1台になるところかと思いますが、教員用はどうですか。

土屋教頭：教員用は業務用のノートパソコンです。

下田委員：有効に使われていますか。

土屋教頭：もともとはホールで使うことを念頭においていたかと思いますが、現在求められているのは、教室で調べたことを交流できるということがタブレットの強みだと思っていますので、今後そのような学習がますます増えていくと思いますので、無線LANの環境整備をお願いしたいと思います。

古田校長：頻度につきましては、今時点も十分活用されています。環境を整えば更に活用できると思っています。

下田委員：以前、ニセコ中学校との共有・共用の件がうまくいっていなかったということがありまして、それぞれの学校で私物を使っていた先生もいらっしゃるようですから、早急に整備が必要だと思います。

教育長：スキーのリフト代の値上げがアンヌプリから来ていたと思いますが、ニセコ小学校との整合性をとった予算組みになるかと思っています。

教育長：来年度の宿泊研修は、今まで劇団四季の鑑賞を含めてということでしたが、時期的には同じ時期ですか。

土屋教頭：8月の末です。

教育長：内容的なところで、劇団四季に代わる内容でその経費がどのくらいか早めにわかれば、示してもらいたい。劇団四季を体験させたいということで始まったことなので、それに代わるものが何なのか、今後の劇団四季の北海道での公演の仕方等も示されているので、今後検討が必要となります。

教育長：他に質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第2 協議案第1号 令和2年度当初予算の各学校要望事項について」の協

議を終わります。

教育長：会議を再開します。

教育長：「日程第3 教育長の報告」について私から説明いたします。

・・・教育長から教育長の報告について説明・・・

教育長：「教育長の報告」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行いません。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第4 報告第1号 交通違反の報告について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第1号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第5 報告第2号 ニセコ町立北海道ニセコ高等学校『海外見学旅行事前協議書』の届出について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第2号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第6 議案第1号 平成30年度ニセコ町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第1号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第6 議案第1号 平成30年度ニセコ町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第1号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第7 議案第2号 ニセコ町幼児センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・幼児センター長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第2号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第7 議案第2号 ニセコ町幼児センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第2号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第8 議案第3号 ニセコ町幼児センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・幼児センター長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第3号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第8 議案第3号 ニセコ町幼児センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第3号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第9 議案第4号 ニセコ町幼児センター第3子以降給食費免除実施要綱の制定について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・幼児センター長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第4号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第9 議案第4号 ニセコ町幼児センターの第3子以降給食費免除実施要綱の制定について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第4号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第10 議案第5号 ニセコ町幼児センター保育料預貯金口座振替事務取扱要領の一部改正について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・幼児センター長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第5号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第10 議案第5号 ニセコ町幼児センター保育料預貯金口座振替事務取扱要領の一部改正について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第5号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第11 議案第6号 ニセコ町私立幼稚園就園奨励費交付要綱の廃止について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・幼児センター長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第6号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第11 議案第6号 ニセコ町私立幼稚園就園奨励費交付要綱の廃止について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第6号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第12 議案第7号 令和元年度要保護準要保護児童生徒の認定について」及び「日程第13 議案第8号 令和元年度ニセコ町特別支援教育就学奨励費の支給対象者の決定について」の2件は、個人情報の取扱にかかわる内容であることから、今回の教育委員会議での議事を「秘密会」とすることを発議いたします。

本件について、討論を行います。

反対、または賛成の討論はありますか。

・・・(討論なしの声)・・・

それでは採決いたします。

「日程第12 議案第7号 令和元年度要保護準要保護児童生徒の認定について」及び「日程第13 議案第8号 令和元年度ニセコ町特別支援教育就学奨励費の支給対象者の決定について」の2件については、「秘密会」とすることにご異議ありませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

異議なしと認めます。よって、会議規則第6条の規定により、「議案第7号」及び「議案第8号」の議事は、「秘密会」とすることに決しました。

・・・秘密会審議・・・

教育長：これで「秘密会」の議事は終わりましたので、これよりの議事は公開とします。

教育長：「日程第14 その他、説明・協議事項」についてです。

何かございますか。

・・・(なしの声)・・・

教育長：その他連絡事項等ございませんか。

町民学習課長 ・ニセコマラソン
教育長 ・今後の日程の説明

教育長：この際ですので、各委員から何かございませんか。

・・・(なしの声)・・・

教育長：ないようですので、以上で、第7回教育委員会議定例会を終了いたします。
ご苦労様でした。